

自民党誠心会 県政報告

第8号

2020年
5月号

力を合わせ次代の扉を拓く



県民の命と生活を守る県政を目指し 新型コロナウイルス克服へ会派を挙げて対応

私たち自民党誠心会には新たに2議員が加入し、28名を要する議会最大会派として、議会の中心的な役割を担っております。

地方創生が進められる中で、山梨県下のほぼ全域の選挙区市町村の代表として、誠心会の同志が地域に根を張り、様々な要望を吸い上げ情報を共有できることのメリットは多大であります。

新型コロナウイルス感染症が県民の生命を脅かし、各種経済活

動への打撃や小中高校などの休校で教育を停滞させています。

この厳しい状況から一日も早く脱却できる具体的な対策を、長崎知事執行部と車の両輪となって協力し合い推進してまいります。

自民党誠心会代表 皆川 巖



掲示板



第129代 山梨県議会議長
山田 一功 甲斐市選挙区

2月定例県議会で議長に選出されました。二元代表制の一翼として県執行部のチェック機能をしっかりと果たし、新型コロナウイルス感染症拡大が深刻化するなか、不安を感じている県民に、正確で分かりやすい情報を伝えることに努めます。



第116代 山梨県議会副議長
杉山 肇 都留市・西桂町選挙区

県民生活の向上と地方自治の発展のため、民主的で公正・公平な議会運営に努めます。また、家庭や職場、学校など通常の県民生活を送ることが出来ない現状に一刻も早い終息を願うとともに、求められる役割に対し、全力で取り組んで参ります。